（別添資料１）

事業所名　児童発達支援てらこやキッズクラブ3（放課後デイサービス）

支援プログラム（参考様式）

作成日　2025 年　2 月　1 日

法人（事業所）理念		子どもと保護者に寄り添った優しい会社										
支援方針		・様々な季節の活動を通し、思いやりや人との関わり方を身に付け社会性を育みます。 ・お子様1人ひとりの感覚の特性に配慮し「やりたい！」「たのしい！」など、子どもの意欲を大切に感覚刺激を積み重ねることで、成功体験を増やしていきます。										
営業時間		平　日 学校休業日	9	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容										
本人支援	健康・生活	・食育活動を通じて様々な食材に触れ合いながら自身で調理し、食事の楽しさと大切さを知る経験を積めるよう支援します。 ・お子様の障害の特性、現状況等に配慮しながら心身状態を確認し、異変があれば早急に対応します。 ・手洗い、うがい、排泄身の回りの片付け、忘れ物の確認など基本的習慣が身に付くよう適切な支援を行います。 ・お子様が余暇の時間を大切に過ごし、達成感を得られるようパソコン、裁縫など自分の興味に合わせた活動を支援します。										
	運動・感覚	・ポートボールや鬼ごっこなど、身体を大きく動かし手足や体感の筋力を育みます。 ・跳び箱、雲梯、トランポリンなど複数の道具を使用するサーキットを行うなど、作業療法士と協力して身体の力や動きを調節するコントロール能力を強化します。 ・丁寧で理解しやすい説明（見本の提示など）の元、はさみやペン、おりがみなどを使用し製作を行い指先の細かい作業をする中で精密な動作能力を獲得できるよう支援します。										
	認知・行動	・スープリュームビジョン（ビジョントレーニング）を通して言語能力の発達促進や視機能（入力）、視知覚認知（情報処理）、目と手の協応（出力）の3つの見る力を育みながら運動能力を向上させ集中力、読み書きする力を高めます。 ・一日の活動を示すタイムスケジュールの確認や来所後の目標を一緒に考えることで、時間の認知形成や自己管理能力の向上を図ります。										
	言語 コミュニケーション	・お子様に合った言葉がけ、指差し、絵カードをなどの非言語コミュニケーションを用いて相互理解を図ります。 ・表情や発語からお子様の気持ちを丁寧に汲み取り、共感や共有することで自他尊重コミュニケーションスキルの獲得につながる支援を行います。 ・話し言葉や表情から相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えるなど言語の受容や表出の支援をします。										
	人間関係 社会性	・集団での遊びや活動を通して、仲間意識や協調性を育むお手伝いをします。 ・子ども達と一緒に事業所内でのルールを決め、それに沿って過ごす意味を理解し集団生活を無理なく過ごせる力を高めます。 ・お子様が事業所の利用について連絡・相談を行うことで、情報共有の重要性を理解できるよう支援します。 ・お子様と一緒にクッキング、掃除、アイロン、整理整頓など自立を促せるよう支援します。										
家族支援		・定期的に面談の機会を設け、お子様の発達状況や特性の理解に向け、様々なお悩みや困りごとへの相談援助や情報提供を行います。 ・ご家庭が安定した日常を過ごせるよう協力させて頂いております。								移行支援	・事業所で支援し習得した行動を学校、家庭などで同様の行動をできることを目指した支援を行います。 ・必要な療育が終了できるご家庭にはお声がけしています。	
地域支援・地域連携		・学校、他相談事業所などとお子様に関する情報を共有し共通理解を図ります。 ・自立支援協議会が開催する事例検討会などに参加します。								職員の質の向上	安心安全に療育を実施できるよう、研修を実施しています。各職員がＢＣＰや虐待防止委員会に所属することで自身の意識を高く持てるようにしています。	
主な行事等		・遠足、社会見学、運動会、ハロウィン、クリスマス会、餅つき、節分、ひな祭りなどの行事を行っています。 ・避難訓練、交通安全教室 ・近隣の施設での体験学習やイベントへの参加										